

瀬戸内タウンミーティング議事録（国府地区）

平成 24 年 10 月 31 日（水）午後 7 時～午後 8 時 55 分
ゆめトピア長船 リフレッシュスタジオ

参加者：男性 6 人 女性 0 人 合計 6 人

意見交換

- ・**県立図書館をよく利用している。雰囲気も良く、読みたい本も見つかる。新図書館について、誰でも求めている本が見つかる図書館にしてほしい。資料館を図書館の中に入れる構想もあるが、別の建物でもよいのでは。本来の本を借りる図書館を作るのがよいと思う。**

（市長）誰でも読みたい本を見つけて借りられることが図書館の大前提である。また、自習勉強をするスペースも必要だと考えている。多目的スペースとして人形劇もできる場所や人形劇の資料や郷土資料などを展示するような場所も検討している。本と実物をつなげて見せることにより、地域の文化の魅力に気づいてもらい、また興味を持ち、すぐそばにある本で学習できるような環境を作りたい。資料館は別建物でもよいのではというご意見があったが、単独で資料館を建てるだけだと、合併特例債が使えないので厳しい。

- ・**中央公民館と一緒にするのは良いことだと思う。だが多目的ホールの貸し出し条件を整えないと、静かに本を読める環境が損なわれ、図書館の良い環境はできない。**

（市長）図書館の間取りをよく考えて、静寂スペースと談話できるスペースと用途を分け、より良い環境をつくりたい。

- ・**岡山県は全国でも学力が低い県である。その中でも瀬戸内市と赤磐市の学力が県下でも低い状況となっている。学力だけでなく、いじめや非行、不登校なども増加傾向である。学力向上に向けてどうすればよいか、具体策が見えてこない。市民に学力向上計画を示し、学力向上に向けての機運を高めてほしい。また学力向上の基本は勉強時間である。近年、学校は休みが多い。警報による臨時休校も多い。学校での勉強時間を増やすことを検討すべき。振替え出校や長期休みを数日間短縮させるなど検討してほしい。**

（市長）学力調査は、抽出校で行うので単年度ではバラつきがあり検証しにくい。市が独自にやっている学力調査で学力の伸びをみていきたい。不登校問題については、邑久中学校が地域ぐるみで学校を支援する地域本部を立ち上

げ、不登校生徒が減っている。この取り組みを広げるために、もっと市民の方にお知らせして、地域みなさんが協力してくれるようにしていかなければいけない。

・**学力向上の基本は勉強時間である。土曜日の授業を行っている私学もある。**

(市長) 一部では土曜日に授業を再開しているところもある。運用で工夫していきたい。

・**市民病院について、産科や婦人科は考えていないか。瀬戸内市より東にはない。**

(市長) 今は難しいと思っている。複数の医師の確保の問題や採算面でかなり厳しい。将来的にはやりたいが、今は目処がたっていない。

・**災害の関係で、伊方原発が再稼働し、不測の事態による放射能漏れが発生した場合、風で瀬戸内市に流れてくるのではないか。県は、島根原発については中国電力と協議をしているようだが、四国電力とは協議をしているのか。**

(市長) 距離的には100キロ以上離れているが、風や潮に乗ってくる可能性はある。県知事とも会う機会があるので、話してみる。

・**長船町は水害が多い。干田川を改修しているが、福里、牛文、土師、磯上は浸かる可能性がある。避難所の長船町公民館も浸かる可能性があるし、耐震性もなく避難所としては危険。長船中学校は耐震化もされており、高台にあるので災害の心配が少ない。牛文の西町から上がる道を、中学校の南に通っている林道につなげ、また長船中学校の南のフェンスからも林道につながる道を作れば避難が容易になる。**

(市長) 来年度に避難所の見直し作業を予定している。その中で長船地域も検討する事となると思う。林道接続への道については、担当課に確認して検討する。

・**干田川の排水の問題で、昨年ポンプが故障して浸水の危機があった。ポンプは県が管理しているそうで、市が管理していればそのような危険がなかったのでは。管理を市が行うことはできないか。**

(市長) ポンプの操作委託は市が受けている。ただ、昨年は発電機が故障してポンプが動かなかった。その後オーバーフローしているので、今後も点検を継続して有事の際にしっかり作動するようにしたい。

・ポンプの増設はできないのか。

(市長) 国には要望しているが、なかなか応じてもらえていない。引き続き要望したい。

・大塚の水門から稻荷山、国府小学校までの県道飯井 - 宿線を二車線にするという話があったが、進んでいない。

(市長) 県へ要望する際、市から優先順位をつけて行わなければならない。建設課と相談して優先順位の高いところから行っていきたい。

・子どもの通学路について、県道 264 号線(福里 - 八日市線)の県道 69 号線と交わるあたりから国府小学校までは、昔から道路が拡幅されていない。昨年、一昨年と接触事故があった。安全面を考慮し、拡幅できないか。

(市長) 長船は道が狭い箇所がある。立ち退きなどの問題もあり、なかなか難しいのだと思う。都市計画を敷かないと進まないが、昔に比べてメリットが少なくなった。計画的にまちづくりを進めるにあたり、都市計画を敷いて行う方法、敷かないで行う方法がある。もう少し時間をいただいて考えていきたい。